

## 第3回第3部会(H29.7.6開催)での主な意見と対応

## 資料3: 施策区分別の個別事業

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
①		「歩行者空間賑わい創出事業」に記載のある「EMU」とは何か。	宇奈月温泉で運行している電気バスのことです。
②	3-1「公共交通対策の推進」	「路線バス・コミュニティ交通等の運行支援」と「公共交通ネットワークの再編等」の違いは何か。	「路線バス・コミュニティ交通等の運行支援」は、現行運行についてのことであり、「公共交通ネットワークの再編等」については、既存のバス路線について、利用実態を把握し、見直しを検討することから分けて計上しています。前者は現行7路線の維持について、後者は持続可能な路線としての見直しをしていくという部分に特化した事業です。
③		「2 公共交通対策事業」のなかで、事業メニュー1だけ「地域交通」という表現となっているが、「地域」と「公共」の使い分けは。統一すべきではないか。	地域交通は黒部市内のみの公共交通であり「地域」を用い、下の2つは黒部市内外の交通のため「公共」を使用しています。「公共交通」の表現だと、黒部市を超えた交通ととられてしまう懸念があります。「地域交通」はバス等の狭いエリア、2, 3の「公共交通」鉄道等の広域的な交通の意味合いです。
④	3-2「道路の整備」	黒部宇奈月縦貫道路建設促進協議会のように、宇奈月大沢野線についても「東部山麓促進協議会」という組織が存在するので、記載すべきでないか。また、朝日宇奈月線についても記載漏れがあるのではないか。また、県道中山田家新線についても確認いただきたい。	宇奈月大沢野線については、事業概要を変更させてもらいたい。朝日宇奈月線・県道中山田家新線についても、確認のうえ、必要があれば修正させていただきます。
⑤		生活道路整備事業で、新規の事業については一切ないのか。	市道改良の新規が無いということになると、この10年では新規改良を進めてきた経緯がある。ここでは個別事業としては新規ではないということです。
⑥	3-4「水道の整備」	個別事業の掲載順は、事業の優先順なのか、先に終わるものを上にするのか、どう考えているのか。優先順位など、何かルールがあった方がよいのではないか。ハード・ソフトをまとめる、アセットマネジメントは下ににするなどの順番の工夫は必要ではないか。	優先順位については付けることはしない。事業メニューと個別事業との関係、ハードのソフト事業の整理については、再度検討します。

## 資料4: 協働体制・市民等へのメッセージ・主な指標と目標値

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
⑦	主な指標と目標値 3-1「公共交通対策の推進」	目標値の設定として、3万人の利用増を設定しているが、一方でメッセージでは出退勤での公共交通利用をお願いしている。通勤・通学時間帯時の利用について特化した指標とした方がよいのではないか。	値は一般市民も含めた数値である。現在は特定企業の通勤のためのバス利用から全体的な公共交通への転換を、順次進めていきます。

	区 分	主な質疑内容	回答・対応等
⑧	市民等へのメッセージ 3-1「公共交通対策の推進」	メッセージについて、自分たちのバスを育てるのだ、というコメントもあると良いのではないかと。行政が用意してくれるものだ、という意識ではない方がよい。一緒に考えよう、という意味合いがあってもよい。	マイレール、マイバス意識を持ってもらうようなメッセージを追加します。
⑨	役割分担・事業主体 3-2「道路の整備」	「道の駅の整備促進」の事業主体が「市」となっているが、国も関与するのではないかと。都市計画道路の前沢大布線は県へ陳情していると思うが。	道の駅については、国と市が一体的にするので国を追記します。前沢大布線については、要望中のため、主体的に進めている市としています。
⑩	主な指標と目標値 3-2「道路の整備」	整備延長とは、新たに整備した延長ということか。	整備延長と路線数の考え方があるが、改良を含めた総距離ととらえている。整備済みという表現に改めます。
⑪		消雪についても目標指標とできないのか。	市内には80km弱の消雪があるが、新たなものは進めない方針をとっており、今後は補修のみとしています。延長を増やすことはないため、目標指標とすることは難しいと考えております。
⑫	主な指標と目標値 3-3「市街地・住宅の整備」	仮換地指定率については、三日市地区の区画整理のみか。	三日市周辺のみであり、「三日市保育所周辺土地区画整理事業」を追加します。
⑬		「市営住宅の長寿命化による改修戸数」は「済み」か。	改修済みである。現在192戸の改修を予定しており、これまでに64戸終わっています。最終的に192戸を目標値としたいと考えています。
⑭	主な指標と目標値 3-5「下水道の整備」	上下水道で目標値の違いがあるが、上水道は%、下水道はヘクタールとなっているが、一般的な表現なのか。普及率に近い方が理解しやすいが。	汚水処理人口は現在行政人口に対して94%となっています。今後整備するエリアにおいては、処理人口の伸びが期待できず、整備の進捗状況を表現するためにヘクタールとしています。汚水処理人口にすると、伸びが表れてこないため、このような表現としました。 ご指摘を踏まえ、2つの指標を併記させていただきます。
⑮	主な指標と目標値 3-6「公園・緑地の整備」	高齢化対策の指標も入れてはどうか。1人当たりの活動量などを表現することはできないのか。	緑化推進事業として、指標としてあらわすのは難しいことから、市が把握できるグリーンキーパーの数を指標としました。活動量は予算の関係もあり、植栽数についてはほとんど変わっていないため、指標としての設定は難しいと考えております。
⑯		長寿命化した施設面積などの指標はどうか。	どの施設をどう長寿命化するかという予定も未定であり、新たな公園を整備する訳ではなく、指標として設定することは難しいと考えています。